

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 1-42	令和3年度「第1回墨田区がん対策推進会議」		
開催日時	令和3年8月4日(水) 午後1時半から午後3時まで			
開催場所	墨田区役所12階121会議室			
出席者数 (18人)	<p>【外部関係者】 渡邊清高、五嶋孝博、都野晋一、鴨川大助、武井和彦、森信之、桜井なおみ、佐藤文子、高木恒子、風間利昭(敬称略) (計10人)</p> <p>【部内関係者】 保健衛生担当次長、保健計画課長、向島・本所保健センター所長、保健予防課長(計4人)</p> <p>【事務局】 保健計画課健康推進担当主査2人・保健計画課健康推進担当主事2人(計4人)</p>			
	公開(傍聴できる)	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	0人
	非公開(傍聴できない)			
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 区長挨拶 3 委員及び関係課長の紹介 4 墨田区がん対策推進会議及び専門部会の概要について 5 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 墨田区のがんを取り巻く現状について (2) 令和3年度がん対策事業の実施予定について (3) その他 6 閉会 			
配布資料	<p>【机上配布資料】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「墨田区がん対策推進会議」委員名簿 2 令和3年度「墨田区がん対策推進会議」の概要 3 令和3年度 墨田区がん対策推進会議「がん検診精度管理部会」の概要 4 令和3年度 墨田区がん対策推進会議「たばこ対策部会」の概要 5 がん対策の現状について 6 墨田区のがんを取り巻く現状(最新データ) 7 各がん検診の実績(令和元年度と令和2年度比較) 8 令和3年度がん対策事業の実施予定について 9 ご意見・ご質問シート <p>【参考資料】 がん教育保護者向けリーフレット</p>			

<p>会 議 概 要</p>	<p>1 開会</p> <p>2 区長挨拶 (省略)</p> <p>3 委員及び関係課長の紹介 (省略)</p> <p>4 墨田区がん対策推進会議及び専門部会の概要について 資料2～4に基づき、事務局より説明</p> <p>5 がん対策の現状について 資料5に基づき、渡邊会長より説明。</p> <p>6 議事 (1) 墨田区のがんを取り巻く現状と各がん検診の実績について 資料6・7に基づき、事務局より説明。</p> <p>【意見・質問等】</p> <p>渡邊会長： 墨田区民のがん死亡率が非常に高いことや、健康状態が良くないことなどの報告があったが、日ごろの民生委員の活動の中で、そういったことを感じられるような場面が何かあるか、高木委員に伺いたい。</p> <p>高木委員： 担当地域が狭く全体のことは言えないが、前立腺がんで亡くなる方を結構耳にする。また、区の健診ではなく、他の健康診断を受けている方が結構いる。そういう方は数字に入っているか。</p> <p>渡邊会長： 職域健診との連携に関しては、データを収集されているものもあれば、そうでないものもあり把握が十分できていない。</p> <p>事務局： 今の受診率に関しては、区のがん検診で出している。確かに職場や人間ドックでがん検診を受けている方も多くいる。この数値を東京都で調整した数が受診率となっているが、特にそういった方が増えているのが実情だと思う。それも含めた数で事業を進めていく必要がある。正確に把握するのは難しいが、そういった方が多くいるのは認識している。</p> <p>渡邊会長： 商工会議所においてもがん検診の重要性は広く周知していると思う。がん検診を受診した後の精密検査の受診率を上げる必要があると説明があったが、どのような働きかけをすれば効果的か、風間委員に伺いたい。</p> <p>風間委員： 大企業もがん対策に力を入れているため、受診率はかなり上がっているのではないかと。運送業は年に1回必ず全社員が健康診断やがん検診を受けているように聞いている。現実的には、もう少し受診率は良いのではないかと。</p> <p>渡邊会長： 地域や職場など、色々な機会に検診や精密検査を受けるよう声掛けすることが重要だと思う。</p>
----------------	--

(2) 令和3年度がん対策事業の実施予定について
資料8の①個別目標1に基づき、事務局より説明。

【意見・質問等】

渡邊会長： 禁煙医療費補助事業の利用数が増えていることから、コロナ禍で禁煙を希望する方が増えていると考えられるが、実際の状況や薬剤師会の禁煙対策についてコメントをいただけるか。

森 委員： 禁煙をしようとしている方が増えている。禁煙に対する補助をする貼り薬やチャンピックスといった内服剤があるが、チャンピックスの流通が今止まっている。流通が再開したら、今年度は墨田区薬剤師会の禁煙サポート薬局の登録を増やし、その中で昨日いただいた禁煙医療費補助事業のリーフレットを活用していきたい。また、ピンクリボンイベントの期間については、薬剤師会のオンライン相談を一般区民向けにしている。

渡邊会長： 子どもへの受動喫煙の影響を最小限に防ぐために、妊産婦の喫煙を防止していく必要がある。区では、歯科医師会の協力のもと、妊娠中と出産後の2回、歯科検診を実施していると聞いているが、実際に禁煙などの啓発をしているなかでお気づきの点など、コメントをいただければと思う。

武井委員： 歯科の健診にお父さんも参加していただきたい。そうすると、受動喫煙の状況をお母さんだけでなく、お父さんもお子さんに対して、双方両親に対しての受動喫煙対策も出来るのではないかと。

また、資料6の口唇・口腔・咽頭のがん死亡者数の増加が気になる。令和元年の数値のため、禁煙対策を進めながら長期的に注視したい。

渡邊会長： 健診と禁煙の声掛けは、様々なところで歯科の先生方に関わっていただく機会が多いと思う。

鴨川委員： 妊産婦歯科健診は、以前は妊娠中だけの健診だったが、産後も増えたので良い。ただ、成人歯科健診事業や後期高齢者歯科健診でも、喫煙と歯周病の関係について問診表に項目があるため、そちらでも普及啓発できる。妊産婦歯科健診の受診率は若干少ない気がする。そこは区も把握していると思う。

口唇口腔は割と発見しやすい場所にある。定期的に歯科受診をしていればそこまで増えないと思う。この統計は、死亡原因を探ってみたら口腔がんだったのか、それとも診断を受けて治療していたのか。

事務局： こちらは実際の死亡の統計上の数値になっていて、死因としてカテゴライズされた数字ででてきているものになる。

鴨川委員： そうすると歯科受診が低いために、令和元年度は増えていると思う。

事務局： 今回はあくまで死亡者数の統計としてご紹介をさせていただいているため、現状ではその要因は分析出来ていない。

鴨川委員： 禁煙に関しては、妊産婦と歯科健診事業で周知出来ていると思うので、周知するために受診率を底上げしていかなければならない。できれば成人歯科健診も5年間枠でなく、短いスパンでやっていただきたい。

渡邊会長： 罹患情報も含めて分析する必要がある。

②個別目標2「がんを早期発見するためのがん検診の充実」について
資料8の「個別目標2」に基づき、事務局より説明。

【意見・質問等】

渡邊会長： 昨年度は新型コロナウイルスの影響で胃がん検診の前期分が中止となるなど、影響は大きかったと思うが、実際の実施医療機関としてはどのような印象か、都野委員に伺いたい。

都野委員： 昨年度の胃がん検診は、前期分が中止になったため、件数が大幅に減少しているが、胃がんリスク検査は、実感としてかなり増えている。若い人たちの受診率が増えていると実感していて、それによる除菌の効果は長期的に見ないとはいけませんが、一定の効果を上げていると認識をしている。

また、大腸がん検診も区の特健診との同時実施を可能としているが、精密検査を勧めても、高齢を理由に拒まれるケースも多く、精密検査の受診率が低い。

今後、医師会として大腸がんの精密検査を受診しやすくなる周知の方法等を検討したい。

渡邊会長： どちらも成果が出た時に多くの区民にメリットが大きいと思う。

佐藤委員は、区のがん検診によってご自身ががんであることが分かったとお聞きしている。コロナの影響で、検診を控える傾向があるとの話も聞かれるが、何かご意見はあるか。

佐藤委員： どんな病気も早期発見・早期治療が根底にあると思っている。私もここに命があるのも、初めての保健所の乳がん検診で、早く検診を受けたメリットが大きかったと感じている。

昨年の5月に転んで怪我をしたが、今はコロナ禍で、少々痛くても医者に行きたくない。最初はリハビリも行っていたが、コロナが怖く外出しなくなってしまった。余計悪いと思うが、予防の検診の重要大切さは重々感じているため、皆様も勇気を奮って色々な検査に臨んでいただけたら良いと思う。

渡邊会長： 緊急事態宣言下だとなかなか外出することも難しいと思うが、検診は是非受診していただきたい。

③個別目標3「がんに関する正しい知識の普及啓発・健康教育の充実」

個別目標4「がん患者が尊厳を保ちつつ安心して暮らすことのできる地域社会の実現」

資料8の「個別目標3・4」に基づき、事務局より説明。

【意見・質問等】

渡邊会長： 都立墨東病院の「がん患者支援センター」では、今後、区のがん対策とどのような連携が具体的に考えられるか、五嶋委員に伺いたい。

五嶋委員： 昨年も区民向けの講演会を病院で開催したが、今年は今のコロナの状況のため、乳がんや大腸がんをテーマにオンラインで実施することを考

	<p>えている。</p> <p>また、院内には患者向けにがんの情報提供をできるよう、がん関連の書籍の充実を図っている。</p> <p>渡邊会長： 区民の方にもいろんな情報に接する機会があると良い。</p> <p>桜井委員： 新型コロナの影響はこれからもいろいろな部分で出てくると思う。コロナによって職域の検診を受診できなくなった非正規職員も多いと感じる。コロナ関連の情報は関心が高いため、併せてがん検診の情報を提供すれば効果は高いと思う。</p> <p>渡邊委員： 感染の状況によって緊急事態宣言の時はどうしてもいろんなところで制限があるが、今後ワクチンの接種が広がれば、健診や普段の健康づくりも含めてより普段通りの生活に早く戻れると思う。そのような中で、効果的にがん検診等の情報を発信できるとよいと思う。</p> <p>桜井委員： 緩和ケア「がんサロン SAKURA」は凄く良い場所になっていたため、是非緩和ケアのことを語り合える場所を継続していただきたい。</p> <p>渡邊会長： 病院や診療所、薬局等で情報の発信ができると良い。</p> <p>今後、各専門部会と第2回の推進会議では、皆さんのご意見を踏まえ、さらに議論を深め、施策に反映できる部分はぜひ反映していただきたい。次回の推進会議では、各専門部会の内容について、事務局から報告していただき、皆さんのご意見をお伺いしたい。</p> <p>以上で、本日の議事はすべて終了となる。</p> <p>7 閉会</p> <hr/> <p>会議の概要は以上である。</p>
所 管 課	福祉保健部 保健衛生担当 保健計画課 健康推進担当 (内線 3534)